

水稲作におけるリン酸肥料削減の基本指針

○圃場の状況に応じてリン酸肥料の施肥量を削減することで、肥料コストの低減効果が期待。

- ・持続可能な環境調和型農業への貢献： 化学肥料の使用量低減
- ・生産者に与える影響： 肥料費削減による物財費低減

リン酸減肥の考え方

- 稲わらを全量還元する圃場に適用
- 地力増進基本指針における改善目標の下限値を基準として

土壌100g中の有効態リン酸が
 10～15mgの場合
 → **標準施肥量～その半量**に減肥可能
 15mgより大きい場合
 → **標準施肥の半量**に減肥可能

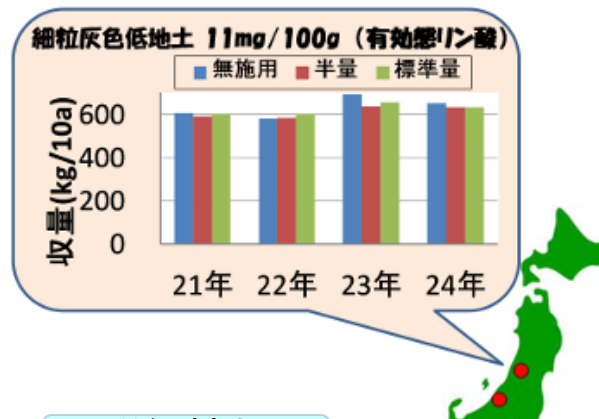


仮にリン酸施肥量を半量にすると・・・

肥料コストは10～20%削減！

現地事例

- リン酸肥料削減試験における4年間の玄米収量
 (細粒灰色低地土、有機態リン酸11mg/100g)



リン酸施肥量を減らした場合でも、**収量は標準量施用した場合と同じ水準**

詳細情報

- 農研機構研究成果

https://www.naro.go.jp/project/results/laboratory/narc/2013/13_004.html

出典：農研機構